

## 友野和子

かわせみ通信

No. 9 2024.8

ホームページを  
開設しました！

世界各地のニュースはインターネット・SNS 等を通して即時に伝えられ、政治も経済も生活も地球規模で考える時代が到来してきています。DX を利用した形態の働き方の効率化で、日本がいかにかに少子高齢化乗り切れるのかを諸外国は見ています。行く先が見えない時代であるからこそ、「いかに生きるのか？」を自らに問い、学び、世代を越えて活動していく事。また議会を通し、目の前にある多様性の社会に対応するには、公的空間でマナーやルールを通して、その権利と責任を学ぶ環境（空間）づくりをすることは自治体の役割であり、今の時代を切り拓く上でのキーワードになるのではないかと考えております。さて清瀬市のボランティアや文化的な活動はとっっても盛んです。地域と繋がる事で、市民の生活がより豊かになることを願っております。



## 2023年12月議会の一般質問より 抜粋 市役所の財政状況とこれからの時代に向けた税外収入について

- 今後の指定管理の在り方について、市側も責任を持って事業に関わるように、利益を市側も得られるようにし、互いのインセンティブを上げる取組を考えてみてはどうか？
- 市内の賑わいを作り出すシティプロモーション課のフードフェスタの取組み（キッチンカー）のこれからの可能性について。
- 学校施設のコミュニティ施設が生涯学習の場となる時の学校開放に繋がる取みや施設・管理の在り方について

清瀬の未来  
ZEROスタート！

## 2024年3月議会の一般質問より 抜粋

- 図書館再編成にむけて、子ども達の読書環境を支援する市民活動を支える体制について質問しました。
- 正月の震災を契機に東京の震災時の清瀬市の学校での危機管理として、避難所の機能を持つ学校の子ども達への対応（先生のマイタイムラインを含む）を質問しました。
- きよバスの未来について。高齢者の車の事故などの事を考えると地域交通が充実する事が望ましい。これからの時代は SDGs で官民が協力して地域交通の在り方を模索する時代。市の施設や病院のバスや駅を繋げる民間のバスや施設や団地を繋げる等、民間のバスと時間帯的に棲み分けをしたルート（きよバスの循環型）の提案。→まずは、運転者不足の問題があるとの事。新しい道が出来る前の構想や交渉・自動運転バス・地域を越えた施設との連携など課題が見えてきました。

- 自転車ルートの整備と地域を越えた歴史文化の開拓について

今年西武鉄道（株）と 100 周年事業を開催は、私たちの地域がいかに交通によって支えられてきたかを再確認し、未来への再スタートをする機会です。



2月26日EVきよバス。スタート！





民主主義の国は2015年をピークに下がり、2021年では29%に下がってきております。今年全世界で行われている選挙では治安を求める国・国民が増えており、市内でも人々の分断が起こらない様、清瀬での取組を問いました。

## 民主主義を問う ～公的空間でのマナー・ルールの在り方を創る～

- 学校でのスピーディーな時代への教科書の対応・人権教育・問題解決能力を上げる授業等の取組みについて。
- 外国からきた方への対応の状況・異文化・言葉の対応の質問。デジタルでの対応の可能性についての提案。
- 南口の賑わいを創り出す仕組み（未来の活力を創る「表現の自由」場の空間づくり・商工会での多様性への取組）の質問と要望。



南口の地域をつなぐ音楽会に参加。未来の活力にGO!

## お知らせ

### 東京都 後期高齢者 医療広域連合 議会より

東京の総人口及び75歳以上の人口は令和7年がピークと見込まれて急激に変化していくため、医療制度を持続可能にする為の負担の公平化が令和4年10月より進められています。【公費（5割）。現役世代の支援（約4割）。収入の少ない方の保険料軽減特例と高齢者の保険料（1割）。通常の方の窓口負担割合は2割。現役並み収入は3割】人手不足を補うためのマイナンバーの資格確認の導入の移行期は職員の負担が多いため、応援体制を進めることになりました。また、同時にすすめられてきた医療費削減のための健康推進事業。清瀬ウォーキングマップ（7月、10月）やニンポイントアプリなどは生活習慣をなくし地域の経済を活性化し、介護を予防するための清瀬の取組みです。是非ご利用下さい。

### 市政・市議会より

人手不足に対応したマイナンバー制度の導入により、市役所の手続きはコンビニなどのデジタルサービススポットやオンライン等を通して、簡単にスピーディーに、多くの場所で利用できるようになってきました。また、市内の生涯学習センター・地域市民センターはけやきホールの指定管理者アクティオ（株）に一元管理運営。下宿市民センターは、市内の体育館や運動公園やテニスコートなどの運営管理をする指定管理業者SOLTILO（株）が2023年4月より運営。スポーツとカルチャーのイベントや講習会を開催しております。子ども達へのプログラミング教育や大人対象の多種多彩な活動を支援しておりますので是非ご利用下さい。

施設の老朽化は近年の自治体（地方）の抱える問題ですが、清瀬市は利用の少ない施設を移転し集約化し改装をすることで乗り切っている状況にあります。（R5～6 商工会・消費者センター・ハローワークはアミューホールの5階へ移転）5月に民間でのプールの授業の見学会に参加しました。子ども達は生き生きと水泳を楽しんでおり、指導体制も行き届いておりました。夏は熱中症対策でも郊外のプール利用は厳しい状況です。学校の施設のプールの改築を辞めて水泳の授業を市内の民間施設との連携の形で進める事はスマートな判断だと思えました。（清瀬小・清明小・第5中は移行計画中）

また、時代や地域に合った子ども達の居場所がどうやったら作れるのかはこれからの課題です。



清瀬小での避難訓練にて。



大阪府門真市で子どもの居場所 KODOMO LOBBY の視察。